

# 山正ニュース

2016年11月号 (通巻90号)

## < 山正ネットワーク >

- 本社 ☎ <058>271-4468 岐阜県岐阜市市橋4-5-15
- 広域資材肥料部 ☎ <058>271-4468 (本社内)
- 岐阜営業所 ☎ <058>271-4466 (本社内)
- 可児営業所 ☎ <0574>62-5228 岐阜県可児市川合345-1
- 富山営業所 ☎ <0766>55-3882 富山県射水市大江207-1
- 飛騨営業所 ☎ <0577>72-4866 岐阜県高山市国府町村山857-2
- 愛知事務所 ☎ <0568>68-7430 愛知県小牧市久保一色町南2-181
- 山正HPアドレス <http://www.yamasyou.com/>

## § 1 富山22年ぶりの「良」、岐阜は平年並み

～農水省が今年の作柄を公表、  
天候に恵まれ農家の努力が報われる結果に！～

農水省はこのほど2016年産水稻の9月15日現在の作況指数を公表し(9月30日)、弊社管内では富山が106の「良」、岐阜が100の「平年並み」になるとの見通しを示しました。全国の作況は103の「やや良」で、ブロック別では北陸が107でトップを占め、北海道は103、東北は102となるなど主産地の作柄がおおむね良好となっています。なお、今回の発表では統計調査上の数値と合わせて、農家等が使用しているふい目幅で選別した数値が作況指数に反映される形で公表されており、農家の皆様は公表された作況時数通りの収穫に手ごたえを感じておられることと思います。

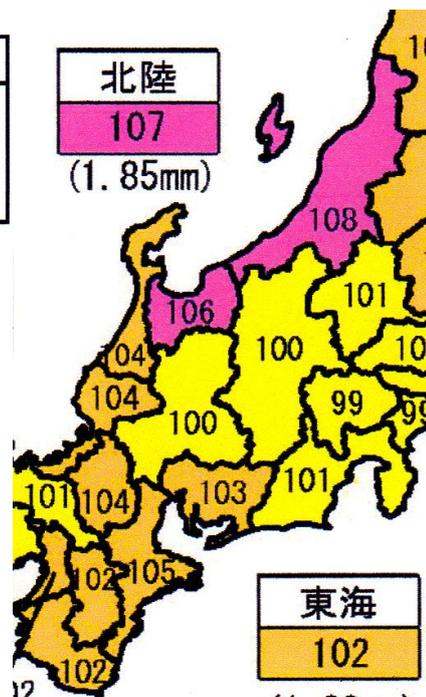
富山の作柄が106の「良」になるのは1994年以来22年ぶりの高水準で、新潟県の108に次いで全国2位、予想反収も567<sup>kg</sup>で統計開始以来最高になる見通しとなっています。これは田植期から穂が出るまでの日照時間が長く適度の降雨もあって気象条件に恵まれたことが大きいものと見られています。

一方、岐阜の作柄は県全体としては100の平年並み、予想反収489<sup>kg</sup>、地帯別では西南濃102、中濃・東濃が99、飛騨が96と地帯別で差がある結果となりました。飛騨が「やや不良」と不振だったのは穂数が平年並みに確保されたものの、一穂当たりの粒数がやや少なくなり、結果として全粒数もやや少なくなったことによるものと見られています。

なお、富山、岐阜ともに登熟は平年並みに確保されていますので、昨年まで2年連続して獲得した富山や飛騨のコシヒカリ及び初獲得した美濃のコシヒカリの「特A」評価が今年も継続して獲得されることに期待したいと思います。

作柄の良否(作況指数)	
	良 (106以上)
	やや良 (105~102)
	平年並み (101~99)
	やや不良 (98~95)

全国  
103



(農林水産統計；農水省大臣官房統計部資料)

東海  
102  
(1.80mm)



(北陸農政局;&東海農政局HPより)



株式会社山正は、農薬・肥料・園芸ハウス・農業資材等の販売や、それに伴う農地・緑地・街路樹等のメンテナンス業務を通じ、地域農業や地域の環境緑地化への貢献を目指しています。



## § 2 過剰米作付昨年到现在に続き解消

～作況が「やや良」となるも、

過剰米作付解消で需給が引き締まる見通しに！～

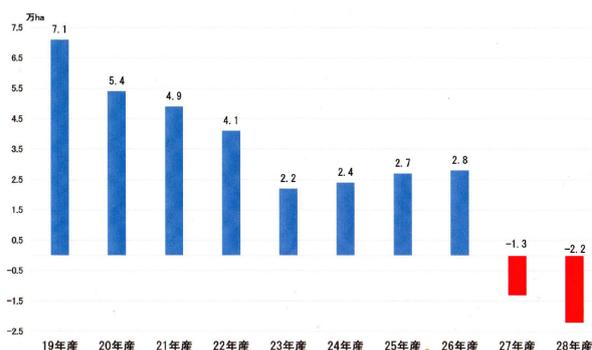
農水省が016年の作況と同時に明らかにした主食用の需給動向によれば、作柄が103の「やや良」となって作付面積をベースにした生産量は752万トに達し、目標数量を9万ト上回ることになるものの、生産現場では農家の努力で超過作付面積の解消が2年連続で達成されて生産量の確実な減少が進み、需給状況はかなり引き締まるのではないかと見込まれています。

全国では政府が示した生産目標数量面積を2万2千ha下回り、民間在庫量を平年水準に抑えるための自主的取組参考値も7千ha下回る結果となっています。この自主的取組参考値が目標を下回ったのは今年初めてことで、今後は米需給状況に応じた米の生産が定着していく傾向にあるものと思われます。このような作付状況から、農水省の予想では来年6月末の民間在庫量は196万ト（前年比9万ト減）程度になり、米価安定の目安とされる200トを5年ぶりに下回るものとされています。

なお、弊社管内では岐阜・富山ともに超過作付面積（対生産目標数量・対自主的取組参考値の両方）が解消されていますが新潟、千葉、茨城などでは過剰作付面積は縮小したものなお少なくない水準にあります。国では2018年産米から生産目標数量の配分をやめ、産地の自主的な生産調整へ転換するとしていますがそのためには産地自らの需要に応じた生産が基本となるので、今後の米主産地の動向にも注目したいところです。

超過作付面積の動向

平成28年9月15日時点



(データは農水省 HP による)

2016年生産調整取組み状況(単位;ha)

ブロック	都道府県	主食用米作付面積	超過作付面積	
			対生産数量目標	対自主的取組参考値
全国		1,381,000	▲22,000	▲7,000
北陸	新潟	101,500	4,424	5,452
	富山	33,800	▲405	▲37
	石川	23,200	▲366	▲112
	福井	23,600	▲314	▲56
東海	岐阜	21,700	▲816	▲617
	静岡	15,800	54	224
	愛知	26,900	565	849
	三重	27,000	▲1,396	▲1,901

▲はマイナス

氏名 沖 真人  
所属 飛騨営業所  
入社 平成28年4月



### 新入社員紹介コーナー

#### 《抱負・決意》

私は平成28年4月に入社し、6か月間諸先輩方に同行して飛騨営業所で取り扱いしている商品の知識と営業について勉強してきました。

6か月の試用期間を経て10月より正社員となることができました。今は一人で営業に回っていますが、商品知識もまだまだ学ぶことが多く、農家さんに納得してもらい営業マンとなるためには、さらに日々の努力が大切なことを痛感しています。今後も先輩方の営業活動の良いところ、真似のできる場所などを積極的に吸収し、一人前の営業マンになれるよう努力をしていきたいと思っています。

- § 1 富山22年ぶりの「良」、岐阜は平年並み  
～農水省が今年の作柄を公表、  
天候に恵まれ農家の努力が報われる結果に！～ (名畑技術顧問・業務部)・・・1ページ
- § 2 過剰作付昨年到现在に続き解消  
～作況が「やや良」となるも、  
過剰作付解消で需給が引き締まる見通しに！～ (名畑技術顧問)・・・2ページ  
来年の米つくりをスムーズに！～ (名畑技術顧問)・・・2ページ  
囲み記事 新入社員紹介コーナー (業務部)・・・2ページ